

活動状況

余別・海HUGくみたい

藻場の保全活動の一環として、「流域における植林」活動は8年目となります。

この活動には大学、サポート専門家、地元住民が参加しており、数年前までは学校の子供たちが種苗を育てるなど、積極的な活動を行っています。

昨年は、ウニ殻を肥料とする試みを行い、今回のモニタリングでは鹿による食害もありましたが、効果が実感できたようです。

植林活動の効果は長い年月が掛かりますが若手漁師たちが熱心に成長していく植物の背丈を測ったり、柵を付けようと声が上がったりと、前向きな活動が行われています。

